業界トピックス

ホウスイ川島 竣工間近

関東内陸部で最大級の6万トン

まもなく完成するホウスイ川島物流センター

ホウスイ（東京・豊洲、乃美昭俊代表取締役会長兼社長）が埼玉県比企郡川島町に建設中の「川島物流センター」が4月に竣工する。

圏央道・川島インターから至近のアクセス抜群の地に、敷地面積1万6876㎡を確保。プレキャストプレストレストコンクリート造5階建て、建築面積7220㎡、延床面積は3万9181㎡。建物の高さは45m。

保管能力は関東内陸部で最大クラスの6万t。2万8300パレットを収容できる。トラックバースは3面に42カ所（4t車×20、10t車×20、40tコンテナ車×2）。

建物は免震構造。2～5階のF級冷蔵庫は4段積みで電動式移動ラックを採用。エレベーター1基、垂直搬送機10基。冷却設備はF級、C&F級が自然冷媒、荷捌室が代替フロン冷媒。照明はLED、非常用発電設備も備える。事務所棟（2棟）も鉄骨造、5階建て。

建設地は首都圏の内陸交通における要衝であり、広範囲でより効率的な物流が期待できる。構造面でも、使い勝手を考慮して3面に計42基のバースを設置したのが特徴。

荷捌き室は陽圧で密閉し、24時間の入出庫が可能。シンプルな造りで、環境面にも十分配慮している。

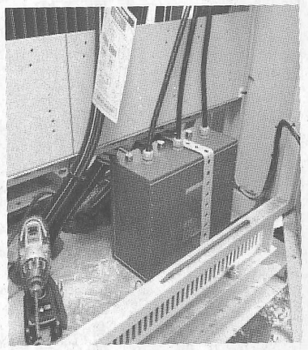
省エネ効果最大15％

電気の流れを改善する節電装置

さつき

省エネ関連の専門商社さつき（株）（大阪市中央区、祖父江一郎社長）は自然鉱石のトルマリンを活用した新方式の節電ユニット「ecomo（エコモ）」を工場などに提案している。導入先からは「電気使用量を約10％削減できた。電力原単位でも削減効果が大きい」と好評価を得ており、水産大手などにも広がっている。

工場内のトランス（変圧器）から電気を供給する際に生じる電力ロスを抑える。トランスに接続した節電ユニット内部のトルマリンが圧電効果によって「自由電子」を発生させる。トルマリンは別名「電気石」と呼ばれるように、微弱電子を放出し続ける特殊な鉱石。このトルマリンが大量の自由電子を放出して電線内の電子密度を上げ、電気抵抗を抑えて電流を潤滑に流す。昨年特許を取得した。


食肉加工場の設置例。30分程度で設置可能だ

トランスには通常、電灯や空調機、冷蔵冷凍庫、コンプレッサ、ポンプなどが接続されているが、電線の距離が長いほど電気抵抗は大きい。電流の流れを改善することで高い節電効果が期待できる。

担当者によれば「削減効果は電気使用量の5～15％。3～5年間で投資回収が見込める」という。5％以上の削減効果が表れない場合は、全額返金する保証を付帯している。

節電ユニットの設計寿命は15年。7年間長期保証も付けている。設置はトランスの2次側に接続するだけ。30分程度で完了するため操業を止める必要はない。

さらにユニット本体に電気が流れることはないため、トランスにつながっている省エネ用の制御装置などを電磁波で干渉することもない。

導入先は化学や資材、食品など100社を超えた。いずれにおいても平均電力量で10％前後の削減効果が出ており、中には生産性指標として重要視される電力原単位（生産量1tに対するエネルギー使用量）で平均9％以上の検証結果が得られた企業もある。

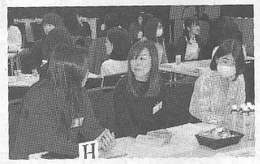
女性の潜在能力を経営戦略に生かす

ニチレイロジグループ

ニチレイロジグループは、女性社員が自身の能力を最大限に発揮し、活躍できる職場づくりを進めている。

その取り組みの一つとして実施しているのが「咲カセル　ロジ女フォーラム」。このほど6回目のフォーラムが横浜市で開催された。

梅澤一彦社長は「ニチレイロジグループが、今後も持続的な成長を図るためには、従来の既成概念に捉われない新たな視点での価値創造が必要。もはや男性だけで企業の成長はありえない。女性ならではの新たな発想、アイデアで企業価値を高めてほしい」と女性の活躍に期待した。

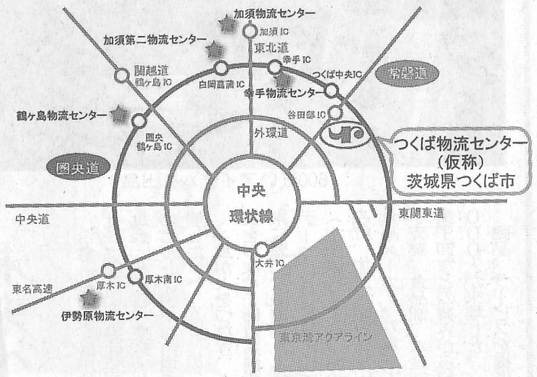

まずは自己紹介から

フォーラムには、全国のニチレイロジグループから女性の総合職・一般職社員65人が出席。女性活躍推進の取り組み事例の紹介や、仕事に対する価値観、女性が自分らしく働ける環境づくりについて意見交換した。

「つくば物流センター」来年2月竣工

横浜冷凍、圏央道構想が進展

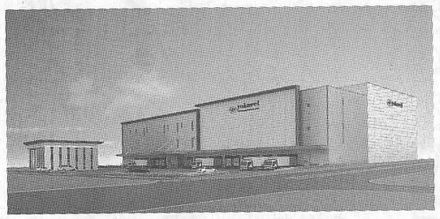
ヨコレイ100万t突破の節目に



横浜冷凍（横浜市、岩渕文雄社長）は昨年12月、物流型冷蔵倉庫「つくば物流センター」（仮称）を茨城県つくば市の圏央道と常磐道が交差する位置に着工した。来年2月に竣工する。

同物流センターが竣工すると、国内外で同社が保有する冷蔵倉庫収容能力が100万tを突破する。記念すべきセンターであるとともに、昨年2月に竣工した「東京羽田物流センター」（大田区京浜島）や「つくば物流センター」により都内、横浜、圏央道沿線の低温物流ネットワークが大きく拡充される。

つくば物流センターは、鉄筋コンクリート造3階建、敷地4693坪、延床6099坪、保管能力2万4700t（F級2万700t、CF級3450t、C級550t）。関東で13拠点目、圏央地区6拠点目、茨城県で同社初の拠点。


圏央地区で6拠点目

冷凍食品の原料や製品、地場産品、北海道から大洗に入港する貨物などの受託を想定している。

冷却方式は自然対流。天井を2重にして、上側の空間を冷やし、庫内天井部分を冷却する。ドックシェルター19基、垂直搬送機4基、9100パレット収容できる移動棚、カーゴナビゲーション（貨物誘導）システム、トラック待機時間の削減につながるトラック予約受付システム、太陽光発電設備などを導入する。

YAMATE
山手冷蔵株式会社
代表取締役会長　青山信之
取締役社長　西澤茂雄
〒141-0022　東京都品川区東五反田5-24-10
電話　03-5798-9011

『自然冷媒冷却システム』で
冷蔵倉庫・低温物流業界に貢献いたします
三菱重工冷熱
(CO2/NH3冷媒)　(CO2冷媒)
本社：東京都港区芝浦2-11-5
（お問合せ）TEL:046-272-3025［低温食品営業部］

"新鮮・うまい"を世界から……
食のコーディネートから冷凍・冷蔵管理、デリバリーまで全ての食材をトータルにお届けします。
美味しい笑顔のそばに、いつもベニレイ
株式会社ベニレイ
本社／〒108-0023 東京都港区芝浦4丁目9番25号
TEL.03-3769-0031 FAX.03-3769-0041
支店／仙台・名古屋・大阪・福岡 営業所／豊洲
(株)ベニレイ・ロジスティクス
本社／〒108-0023 東京都港区芝浦4丁目9番25号
TEL.03-3769-0032 FAX.03-3769-0042
事業所／東扇島・城南島・平和島・大阪南港

寶船冷蔵株式会社
代表取締役社長　中井　宏
本　社　〒550-0015　大阪市西区南堀江3丁目15番14号　電話06（6531）8891㈹
堀江工場　〒550-0015　大阪市西区南堀江3丁目16番30号　電話06（6541）8251㈹
港工場　〒552-0023　大阪市港区港晴5丁目2番60号　電話06（6572）3475㈹
南港工場　〒559-0032　大阪市住之江区南港南6丁目5番12号　電話06（6612）5801㈹
咲洲工場　〒559-0032　大阪市住之江区南港南5丁目2番100号　電話06（6614）7771㈹

冷蔵倉庫を中心に通関、保管、流通加工、受注代行、